1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2191500012				
法人名	三菱電機ライフサービス株式会社 中津川支店				
事業所名	中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷				
所在地	岐阜県中津川市中津川3042-39				
自己評価作成日	令和7年1月17日	評価結果市町村受理日	令和7年4月17日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action.kouhyou.detail_022_kani=true&JigvosyoCd=2191500012-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

49 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:18)

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと				
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル				
訪問調査日	令和7年2月17日				

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体法人の組織的な研修体系があり、スタッフの資質向上を目指し、社内外の研修に参加し、常にケアの向上を目指している。ケアマネジメント「センター方式」を活用し、利用者本位の個別性を重視したケアに取り組んでいる。平屋で中庭に出やすく、入居者様は自由にユニット間を行き来でき、スタッフは全員の方と顔見知りの関係です。

今年度は近隣の老人会の方々による草刈りや窓ふき等のボランティアの受け入れや介護相談員の受け入れを行い、徐々に外部との交流を行っている。施設内では様々なレクを考え、ご利用者の筋力低下の防止や、食での楽しみを味わって頂けるよう、工夫をした行事を取り入れ好評を頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、市役所や公共施設等も近い便利な場所にある。大通りからは少し離れ、田畑も多く、車などの騒音も聞こえない静かな環境にある。室内は床暖房設備があり、暖かで、居心地が良い。職員は、事業所内で改善したい点をまとめ、意見書を提出し、法人からは、すべて回答されている。思うように改善できない点もあるが、風通しの良い職場であり、結果的に就業環境の整備に繋がっている。AEDを設置しているが、消防署が近いこともあり使用する機会がなかったが、万が一の為に積極的に訓練をして行きたいとしている。看板を立て、近隣住民にもAEDの設置を知らせている。

٧.	Ⅵ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	↓該≦	取り組みの成果 当するものに〇印
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:15)	1. ほぼ全ての利用者の 〇 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8.9)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:14,27)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、活き活きと働けている (参考項目:10,11)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 〇 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:20)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが			_	

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。]

自	外		自己評価	外部評価	
己	部	項 目 	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.Ę	里念し	こ基づく運営			
1	(1)		月2回会議の場で、スタッフが理念を唱和し、共有して、常に意識できるよう実践している。理念に沿って、ご家族との交流を行っている。	理念を正面玄関や相談室に掲示し、職員は常に意識してケアに当たっている。理念を毎月の会議時に唱和し、迷ったり、困った時は理念に基づいたケアを行なっているか、具体的に話し合いながら、ケアの統一を図っている。	
2		〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	近所から定期的に野菜をいただく。学区の 資源回収への貢献などを実施。近隣に子供 が大勢住んでいるため、地域の方と相談し 通勤時の車の運転に配慮を行った。あいさ つは常に心がけている。	りが再開されたので、今後は、参加を検討するとしている。地域のボランティアによる草刈	地域密着型サービス事業所であることから、地域の行事には積極的な参加が望ましい。災害時においても、公民館を利用できるよう依頼するには、 日頃から地域との交流が必須と思われる。
3	, ,	〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、近隣 住民の方や区長さん等へ運営状況を報告し ている。ご家族から頂いた意見はサービス 向上に活かすよう努力している。	運営推進会議は、2か月毎に開催している。参加者に運営状況や活動報告等を説明し意見交換を行なっている。また、「運営便り」として、議事録と利用者の暮らしぶりの分かる写真を合わせて掲載した文書を、利用者家族、老人会、自治会等に配布している。	運営推進会議には、様々な関係者の参加がある。できれば、警察署にも参加を依頼し、万が一、利用者の徘徊等が起きた場合に、協力を得られる体制作りに期待したい。
4	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員の受け入れを行い、ご利用者の話を聞いて頂いている。市開催の研修会に参加し関係を築くようにしている。	市の担当者とは、日常的に疑問点や相談をいつでもできる関係ができている。地域住民であるデイサービス利用者が、オレオレ詐欺被害にあいかけたのを、職員の機転と市の協力もあって、未然に防げた事例がある。	
5		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修会で不適切ケアの研修を行った。 また、身体拘束を行わないよう普段のケア の中で、施錠や利用者本人の行動をさえぎ る行為、言葉の制止を行わないよう取組ん でいる。定期の委員会の内容はスタッフと情 報共有している。	身体拘束についての外部研修を受けた職員が、勉強会を行なっている。普段の関わりを振り返り、気づきを共有し拘束に繋がらない支援に取り組んでいる。職員個別面談も行っている。また、業者の出入り時に利用者が外に出てしまったこともあり、注意喚起を行っている。	
6		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について 学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での 虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、 防止に努めている	定期的に研修を実施し虐待について学ぶ機 会を設けている。委員会を開催し内容を周 知徹底している。	身体拘束等適正化検討委員会と同時に虐待 防止委員会を開催している。外部研修に参 加したり、動画を使って内部研修も行ってい る。日々、ケアを振り返り、職員会議で意見 交換をしながら、虐待防止の徹底に努めてい る。	

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

自	外	<u> </u>	自己評価	外部評価	<u> </u>
一三	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	成年後見制度を利用している方もいた。今 後も必要性を見極め、活用できるように努め たい。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行 い理解・納得を図っている	入居希望者には早めの連絡を行い事前の 説明や意見交換を行い、利用者本人様、ご 家族様が納得された上で契約を行ってい る。		
9		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並 びにに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	面会・外出を再開し、家族等より管理者や職員への要望を聞き、スタッフ会議で周知している。	前回の課題であった、月次報告時に個別の 写真を載せてほしいとの家族の要望に、早速 対応している。家族から「母の元気な姿を見 て安心した」と喜ばれている。利用者家族等 アンケートには、厳しい意見もあるが、感謝 の言葉も多い。	
10		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	人面談を行ったり要望を聞いている。普段 から話しやすい雰囲気に努めている。	法人の提案により「職場懇談会意見書」を職員が提出し、回答を得ている。職員の改善要望が多く出されており、駐車場の車止めの設置など、できることから手がけるなど、職場環境の改善に繋げている。	
11	(9)	〇就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、 勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を 持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮 した職場環境や就業条件の整備に努めている	スタッフの日々の取り組みや実績、自己研 鑽などにより夫々に応じたベースアップや賞 与を支給している。様々な資格取得に対し ての奨励金制度やレク補助制度を設け、働 きやすい職場作りに努めている。シフトも配 慮している。	管理者は、職員の有給休暇取得や休憩時間の確保、勤務シフトの要望等を把握し、適切に対応している。職員の休憩室が確保されており、ノーコンタクトで休憩時間を取ることができている。	
12		〇職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	法人内で外部講師による研修を実施。職員の力量に合わせて法人外の様々な研修への参加を奨励して、スキルアップを目指している。参加者には時間外手当を付与し、レポート提出にて他職員にも周知している。	法人内外の研修受講を後押しし、スキルアップを目指す職員のやる気を引き出すなど、仕事への責任感の強化にも繋がっている。11月にミャンマーから技能実習生を2名受け入れている。文化の違いが大きく、介護技術だけでなく、声の大きさや利用者と目線を合わすなど、利用者とのコミュニケーション方法も教えている。	

自	外		自己評価	外部評価	T
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会つくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等 の活動を通じて、サービスの質を向上させていく 取組みをしている	市内のグループホーム部会に出席し、同業 者と意見交換や情報収集をしている。		
Ⅱ.5	を心と	:信頼に向けた関係づくりと支援			
14		〇本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	信頼関係を築くことを第一とし、そのため傾聴や寄り添うことを大切にするよう指導している。一人の人間として関わり、共に暮らすもの同士の関係を築く努力をしている。		
Ш.	その	人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	センター方式を活用しながら、ケアカンファ・ スタッフ会議で職員全員で利用者様の気持 ちを探り、本人本位のケアができるよう努め ている。入居時にご家族様にアセスメント	職員は、利用者のつぶやきから、思いや意向を手書きで記録している。家族からも来所時や電話で聴き、情報を共有している。家族の要望が多い面会や外出については、感染予防対策について記した文書を配布し、同意を得た上で可能としている。	
		〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成の際は、職員全員で現在の ご本人の状態を見極め、必要な支援は何な のか考えるようにしている。 ご家族、医師、看護師の意見も加えている。	ケアプラン作成時や見直し時は、家族からの情報、全職員によるモニタリング結果、利用者の体調等に関する医師や看護師からの記録や情報も含めてカンファレンスを行い、プランに活かしている。	
		個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	ている。スタッフ会議では全員のケアを振り返り気付きを共有し、実践するよう取り組ん	センター方式を使って、具体的で分かり易い個別記録となっている。ホームで転倒して入院後、状態が変化した利用者には、センサーマットを導入し、転倒事故の再発防止をするなど、記録を基に介護計画の見直しに繋げている。	
18		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	を利用。褥瘡予防マットのレンタルやムース 職などの配慮を行っている。車イス利用者 の外出・通院時には、車イス対応の社有車 にて対応している。立ち上がりが難しい方は	いが、感染症対策を行いながら、事業所内で	

| 岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

自	外	項目	自己評価	外部評価	5
三	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	ドライブ時、自分の生活していた場所を巡り、昔話をしたり五平餅を食べ楽しんだ。いつもしていた数独に取り組むなど支援している。		
20		〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	継続する方と、GHの協力医に変更される方がある。協力医は2週間ごとに往診があり、	かかりつけ医は、本人・家族の希望で選択することができる。協力医以外をかかりつけ医にした場合でも、往診日の際には、体調について相談することができる。看護師が24時間体制で協力医と連絡を取る事ができ、緊急時には、利用者が適切な医療を受けることができるよう支援している。	
21		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 また、できるだけ早期に退院できるように、病院関 係者との情報交換や相談に努めている。又は、そ うした場合に備えて病院関係者との関係づくりを 行っている	がされており、GHからも情報を提供し、常に	退院カンファレンスには、管理者、ユニット リーダーが参加している。場合によっては看 護師が参加することもある。退院後は、リハ ビリ体制が整っていないため、医療機関でア ドバイスを受けながら、早期退院に向けて対 応している。	
22		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	終末期に向けた時期には、家族、医師の意見を聞きながら、意向確認を行い、次の施設、病院などの情報提供を行っている。面会時、月次報告書等で日頃の状況を伝え、おとずれる終末期前からの経過を伝えている。	看取りは行っておらず、地域性からか、看取りの機会は少ない。利用者の状態変化や常時、医療ケアが必要な場合は、入院を優先している。家族に早めに連絡し、本人・家族の希望を聞いているが、突然、急変する場合もあり、緊急時の対応や職員の不安軽減の為にも、研修の必要性があると思われる。	
23		〇急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	折を見て、緊急時の初期対応、救急車要請時の動きの確認などを行っている。救命講師の資格を取得したスタッフによる救命講習を予定している。		
24		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている		省点を見つけ、改善に繋げている。単独火災の場合は、玄関やデッキに一時避難をするとしている。ハザードマップでは、水害・崖崩れの心配はないが、道路が寸断されると物資が届かないことが予想される。備蓄の充実が	思われる。地域の力を借りて、近くの 公民館等に避難できるよう、運営推進 会議や自治会と相談しながら、利用

自	外	項目	自己評価	外部評価	5
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	(19)	人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの方の人間性や性格をきちんと 把握し、職員で話し合いながらその方に合っ た声かけ・対応を考えつつ行っている。	日常のケアの際に、利用者への言葉がけが 不適切と思われた場合は、職員同士で注意 し合っている。入浴支援は、希望があれば、 同性介助を可能としている。脱衣室はカーテ ンで仕切られ、プライバシーが確保されてい る。	
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	関わりの中で、その方の希望や好みを理解 しようとしている。希望がある事は声かけし 自ら行ってもらったり、嗜好品を選んでもらっ たりしている。		
27		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	何かをする時にはご本人に声をかけ、同意 を得ながら、その方の一日のペースを大切 にしながら過ごしていただくよう努めている。		
28		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	を切って頂いたり、毎日の食事が楽しみとなるよう支援している。行事食ではホットプ	食事は主に湯煎食材を使用しているが、ご飯と汁物は職員が手作りしている。差し入れ野菜なども活用し、柔軟にアレンジして提供している。玉ねぎの皮むきなど、簡単な下ごしらえや配膳下膳を手伝う利用者もある。作る楽しみも味わえるよう、うどん作りやおやつ作りも行なっている。	
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	食事量はその方に合った量を提供できるよう情報を共有しながら支援している。水分が 摂れない方にはゼリーを作り提供する工夫 をしている。		
30		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	起床時、昼食後、夕食後は全員口腔ケアを 行い、口腔内の清潔保持に取り組んでい る。年一回は口腔健診を受けている。	毎食後の歯磨きが困難な利用者には、職員が支援している。歯科衛生士による口腔ケアも受けている。夜間は、職員が適切に義歯管理を行なっている。治療が必要な場合は、歯科医につなげ、口腔内の清潔保持に努めている。	

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

自	外	項目	自己評価	外部評価	5
己	部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人記録により排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。パット交換の際には、排泄後のタイミングを見計らって、さりげなく交換させて頂くようにしている。		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をして いる	時間帯は決まっているが、その方に合った 湯の量・温度と安心安全に入浴を楽しんで 頂けるよう関わっている。入浴剤の使用や ゆず湯、しょうぶ湯などを行っている。 重度の方にはリフト付き浴槽へ順番を調整 しながら入っている。		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休みたい時は居室にて休んで頂くようにしている。また、その方の体力や体調に合わせ 昼寝の時間を設けたりしている。		
34		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	見受けられるようであれば、スタッフ同士の話し合いを持ち、変化の確認をしている。医師、ナースとも連携を取っている。入居時には意向を確認し、医師と相談し薬の減量や	誤薬防止の為、朝・昼・夜と分包薬に色付けをし、服薬支援時は、職員2名でWチェックをしている。飲み込みまでを確認している。処方変更時に利用者の体調に変化があった時には看護師に連絡し、医師の指示を仰いでいる。錠剤が飲めない利用者には医師と相談している。	
		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	範囲で楽しめるよう支援している。		
36		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ベランダでの日なたぼっこを日常的に行い 外気に触れるよう支援している。施設での外 出ドライブの他、ご家族とも時間を決めて外 出できている。	コロナ禍以降、外出支援は控えているが、中庭で散歩を楽しんでいる。花見には毎年全員で出かけている。利用者は帽子をかぶるなど、それぞれが、おしゃれをして外出を楽しんでいる。	

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

自	外	マー・ ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自己評価	外部評価	T
己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解し ており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援している	希望される利用者様に職員が同行し、買い物に出かけている。お金を所持している方は半数ぐらいおられ、大切にされている。		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	希望された時、いつでも電話ができるように 支援している。携帯電話を持ち、お好きな時 に家族に電話して見える方もいる。年末に はご家族様の年賀状をスタッフがサポートし て書いて投函した。		
39		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様がまぶしければカーテンを閉められるので、それに合わせスタッフは空調、照明などを調整する。温度、湿度計を設置して確認している。トイレも重なり合う時は衝突のないよう誘導を行っている。リビングには季節の飾りを作ったり、庭の花を摘んで飾ったり、季節感を感じていただけるようにしている。	玄関を入ると、沢山の手作り作品がフロアーまで続き、訪問者の目を楽しませている。広いフロアーではテーブルを囲み、カードゲームに声を立てて笑い楽しそうに過ごしている。また、バードウォッチングできるよう庭に鳥の餌台が設置されており、大きな掃き出し窓から野鳥の様子を眺めることができる。	
40		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	共用空間の様々な場所にソファーを設置 し、好きな時に好きな場所で過ごしていただ いている。		
41		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	で使用して頂くようにしている。写真や作成		
42		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	部屋やトイレは、解り易く表示したり、夜間は トイレ内の電気を点灯したままで混乱を招か ないようにし、自立支援を心掛けている。ま た、状況によりベッドセンサーを使用し転倒 などがないように見守りも行っている。		